

3学年外国科英語：ノースカロライナ視察団との交流

6/27～7/8
(4時間)

連携先：イーストチャペルヒル高校、チャペルヒル
高校、引率の先生方

ねらい：直接的な交流を通して、相手の意図・考え方を的確に理解し、世界各国の人々と積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成し、豊かな国際感覚を醸成し、多様性を受け入れる力を身に付ける。

- ☑ 自己有用感を高める
- ☑ 他者と協働する力を高める
- ☑ 学校や地域の一員としての自覚を持たせる
- ☑ 様々な活動に意欲的に参加できるようになる

内容の説明

- ① 7月8日（月）にノースカロライナからの視察団が来校し、日本文化の発表会を行うこと聞く。
- ② 生活班に分かれて発表内容を決め、原稿を作成する。

発表準備

- ① 班ごとに原稿を作成し、タブレットや画用紙等を用いての発表準備を行う。
- ② 実際に時間を測り、発表練習を行う。発表ではノースカロライナの生徒たちが体験できるように工夫をする。

当日の交流

- ① 全校でのセレモニーとして体育館での交流を行う。（校歌の紹介、視察団の方々の自己紹介、調べ学習の発表の清聴など）
 - ② 各クラスにて日本文化の発表会を行う。1時間
 - ③ 茶道部に参加し、茶道体験を行う。
 - ④ 全ての活動を終え、振り返りシートを記入する。
- 1～2時間

写真は交流日当日の7月8日の様子



成果

- ・班員と協力しながら、日本の文化や伝統を伝えることができた。
- ・校歌や部活動の紹介を通して、学校の一員としての自覚を高めることができた。

課題

- ・タブレットを用いての発表が多かったため、より直接的に関わる発表方法を考え、より意欲的に活動に参加できる取り組みを考えていきたい。

